

物言わぬ語り部―“震災遺構”について考える

3・11で被災した震災建物の多くが解体されました。私は震災遺構は保存してもらいたいと思いますが、震災遺構の保存については、賛否両論があります。

1 解体してもらいたいという意見は、

- ①震災遺構を見ると、津波や遺族のことを思い出すので、解体してもらいたい。
- ②震災遺構を保存すると、土地の嵩上げなどの街づくり・復興が遅れてしまう。

2 保存してもらいたいという意見は、

- ①ここには遺族の魂が宿っていると思うので、月命日には震災遺構に来て祈っている。
- ②保存しなければ、将来に津波の恐ろしさを語るものが無くなってしまう。
- ③住民の合意があるまで、震災遺構は保存すべきだ。等です。

広島原爆ドームの保存決定は、終戦から25年経ってから

去年、NHKスペシャルで「震災遺構」が放送されました。印象に残ったのは、広島原爆ドームの保存決定は、昭和45年、終戦から25年経ってからです。その当時は、原爆ドームの保存に反対だった人達が、今では原爆ドームの保存と、ノーモア・ヒロシマ・ナガサキ・フクシマのために、高齢でも頑張っているということでした。

【解体された市役所庁舎（陸前高田市）】

